



音遊塾 塾頭
ミュージックファシリテーター
中山 佳樹さん(25)



「誰もが表現者として、自由に自分をさらけ出せる場を作りたい」と、つくば市内で和太鼓を通じた市民の自己表現の場「音遊塾」を運営している。

「誰かが表現者として、自由に自分をさらけ出せる場を作りたい」と、つくば市内で和太鼓を通じた市民の自己表現の場「音遊塾」を運営している。

夢中になつて音と遊ぶ

れるような場所”にし

ていきたい」と展望を語ってくれた。

中山さんは、音遊塾の運営のほか「和太鼓のユニット音遊人(みゅーじゅん)として音遊活動もしている。

(澤田悠太)

◆音遊塾は、市内で月2回の定期セッション

を開設中。入塾に関する問い合わせは、公式HP(<http://on-u-juku.org>)まで。

は、高校時代にバンド活動を開始。当時から「音楽で生きていきたい」という気持ちは強かったが、メンバーの就職で19歳のときにバンドを解散。バンド解散後、音楽での起業を決意し、NPOやIT企業で新規事業立ち上げなどの経験を積んだ。

日本の伝統音楽に興味をもち、和太鼓にも打ち込んでいた。昨年6月に和太鼓講師を始め、参加者が和太鼓を習う教室という開設に至ったという。

音楽活動もしている。自身は「日本人として生まれ育った特性を生かして、歌と楽器を融合した新しいジャンルの音楽の創造にも挑戦したい」と意気込んでいる。

バンドマン時代から遊みたい大人も、親子の時間も創りたいという親子も入り混じり、いろいろな「やりたいが集う場所にした。そして、それぞれ志は

違っても、夢中になつて音と遊ぶことで、感動やプロセスを分かち合える場所にした」と考え、9月に音遊塾の開設に至ったという。

「音遊塾では、自分も講師という立場ではなく、1人の塾生・場作り人、ぶっちゃっかとして他の塾生の皆さんと同じ目線で、一緒に